

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.142)

1. 平成28年「年賀式」を開催

1月4日(月)に、平成28年年賀式を開催しました。

式には、中間貯蔵・環境安全事業(株)豊田PCB処理事業所及び運転管理会社の豊田環境サービス(株)の社員合わせて170名余が出席し、豊田PCB処理事業所長及び豊田環境サービス社長から、新年を迎え心新たに安全操業を継続実施していくよう訓示がありました。

式の最後に、豊田環境サービス(株)運転部長の号令のもと、社員全員で「ゼロ災でいこう!」「よし!」の掛け合いコールを実施し、平成28年の無事故無災害を祈念し終了しました。



2. PCB処理安全監視委員会について

1月13日(水)に平成27年度第3回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、PCBの処理の進捗状況について報告し、委員の方々からは事故トラブルもなく、PCBの処理が順調に進んでいるとの一定の評価をいただきました。



豊田市からは、PCBによる環境汚染事故等が発生した場合の危機管理マニュアルの案などについてご説明がありました。

また、環境省からは、全国のPCB廃棄物の期限内処理の早期達成に向けた追加的方策についてご説明があり、委員の方々からも期限内での確実な処理完了に向けた一層の取組強化を行うようご意見がありました。

3. 普通救命講習(心肺蘇生法とAEDの使用)を実施

1月に4回に分けて豊田市消防署から講師をお招きし、普通救命講習を実施しました。

講習内容は、①心肺蘇生法(傷病者の反応確認、119番通報、人工呼吸、心臓マッサージ等)の模擬訓練と実技テストによる成果確認、②心肺蘇生法を行いながらAED(自動体外式除細動器)を使用する訓練等です。

豊田施設では、社員や来場者の万が一に備え、3階にAEDを設置しています。



PCB処理事業紹介シリーズ 第20回

今回は払出設備についてご紹介します。

PCB無害化処理が終了した廃棄物(以下、処理済物)は豊田PCB廃棄物処理施設から払い出されます。環境保全の観点から資源として活用できる物はできる限りリサイクルされるように配慮しています。

●リサイクル資源の払い出し

無害化処理されたコンデンサやトランスの構成部材は、当施設の4階にある払出エリアに送られます。

ここでは、送られてきた処理済物を金属や可燃物などに分別します。これをそれぞれ専用容器に入れて一時保管し、一定量に達したところで、容器ごと払い出しします。

払い出された金属類はそのまま原料として、また、可燃物は燃料などに再利用されます。容器は当施設に返却され、繰り返し使用しています。



●スラッジの払い出し

コンデンサやトランスに使用されていたPCBの溶け込んだ油の無害化処理を行うと、スラッジと呼ばれる泥状の廃棄物が残ります。

スラッジは専用の容器に入れて一時保管し、容器数が一定量に達したところで、容器ごと払い出しされます。

スラッジは外部の廃棄物処理施設に運ばれ処理されます。容器は当施設に返却され繰り返し使用されます。当事業所では、環境保全の観点から、処理後の残渣についても再資源化を行う事業者へ処理を委託しています。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)
豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543
【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>